

備 前 市 施 策 評 価 シ ー ト

施 策 名 (小項目)	その他事務管理(監査委員)	コード	作成者	役職	監査事務局長
		06-01-20		氏名	馬場鉄二
				電話	0869-64-1839
				このシート作成に要した時間	3.0 時間

**この施策の
アピール
ポイント**
 監査委員監査を補完し外部の目で行政事務をチェックできる個別外部監査制度が整備されている。
 専門的知識と実務経験を有する公認会計士が代表監査委員に選任されている。

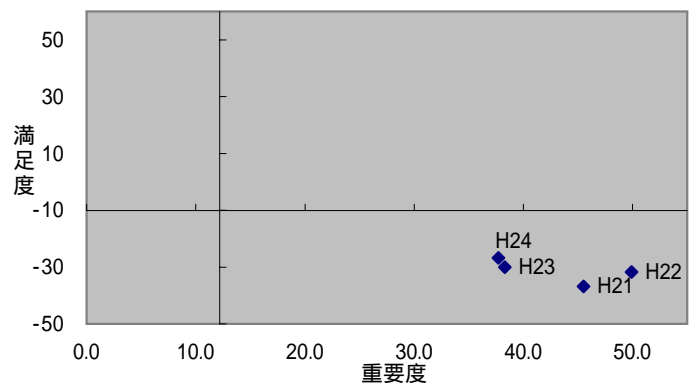
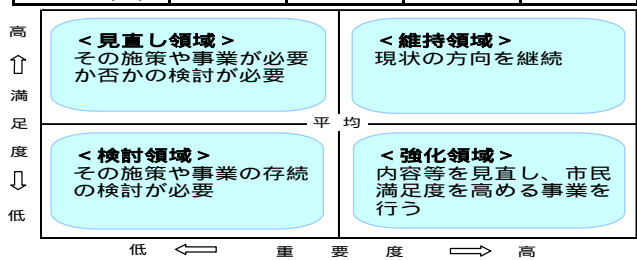
**この施策の
平成23年度の
施政方針**
 行財政改革プランの実行により、市税、使用料等の収納率向上対策、受益者負担の適正化対策などを推進して自主財源の確保に努めると同時に、行政経費の徹底した削減、節減、合理化を進めることで財政収支の均衡を図り、基金に頼らない安定した財政基盤の構築に取り組んでまいります。また、一般会計において、地方債充当事業の厳選、事業の計画年度の見直しをはじめ、公営企業会計や一部事務組合においても事業費の圧縮を強化し、市債償還の負担を将来世代へ先送りすることのないよう将来を見据えた財政運営に努めてまいります。

< 備前市総合計画の内容から記載する >

政策の体系	基本目標(大項目)	健全で自立したまちづくり
	基本施策(中項目)	簡素で効率的な行財政運営
対象と目的 (誰のために、何のために)	市の行政執行の適法性、効率性、妥当性を検証し、その結果を市民等に公表することにより、公正で合理的かつ効率的な行財政運営が図られることを目的とする。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	厳しい財政状況に加え、少子高齢化、市民要望の多様化、高度化が進む中で、限られた資源(金、人、モノ)を効果的、効率的に活用し、公正で合理的な行財政運営が求められている。市民の行政に対する信頼の確保を図るうえで、監査体制の強化と監査機能の充実及び情報の公開が重要である。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 法令監査、検査、審査の事務事業の推進 監査結果の公表 監査機能の充実 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H21	H22	H23	H24
重要度(%)	45.5	49.9	38.3	37.7
満足度(%)	- 36.8	- 31.7	- 30.0	- 26.8



調査結果に対するコメント、市民の反応等
 調査対象でない施策は、市民の反応等
 地方自治法で規定されている監査委員制度であり、有効に機能させ行政のリスク軽減に努める必要がある。

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H21	H22	H23			H24	H28
成果指標 定期監査結果の指摘事項に対する改善割合(加重)	目標	%	-	-	75.0	指摘事項改善件数 + 前年度分改善漏れのうち本年度改善件数 / 定期監査指摘件数 + 前年度改善漏れ件数 × 100	H24	78.0
	実績	%	-	66.7	77.4		H28	80.0
	達成率	%	-	-	103.2		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標 定期監査指摘件数	目標	件	-	-	50	年間指摘件数	H24	35
	実績	件	-	78	37		H28	28
	達成率	%			135.1		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標 定期監査結果の指摘事項に対する改善割合(単年)	目標	%	-	-	70.0	指摘事項改善件数 / 定期監査指摘件数 × 100	H24	75.0
	実績	%	-	66.7	73.0		H28	80.0
	達成率	%			104.3		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標 定期監査実施率	目標	%	50.0	50.0	50.0	年間実施部署数 / 全対象部署数 × 100	H24	50.0
	実績	%	33.3	33.3	50.0		H28	50.0
	達成率	%	66.7	66.7	100.0		-	-
	ベンチマーク						-	-

目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
総務課	内部統制に関する連携	事前にリスクを把握し、予防策を講じることによってリスクを軽減できる。

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い				
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)				
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	本年度から定期監査に重点を置いて、成果指標を新たに設けているため、内容については、前年度よりの確かなものとなったと考えている。定期監査による指摘事項を改善していくことは、今後のリスク軽減につながる。				
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	4	施策構成の事務事業は、法定事務と監査に関する情報収集、調査研究研修等の委員会加入負担金である。事業として必要なものと考えている				
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	成果指標、参考指標について<新たな指標を設けた。担当課とともに指摘事項を改善していく、今後のリスク軽減につなげていく。>				
進行年度(H24年度)の取組内容(課題解決状況)		定期監査の指摘事項について、措置状況の報告を各部署に求め、その改善の結果を公表している。措置状況を公表することにより、市民の信頼を確保するよう努める。				
翌年度(H25年度)の取組目標		定期監査、例月出納検査等を通じて明らかになった指摘事項を改善することによって、市長部局と協力の下にリスクの軽減を目指していきたい。そのため、内部統制機能の充実に向けて研究していく。				
二次評価者コメント		定期監査、随時監査を実施し、市の行政執行の検証を行いその結果を公表することにより、行政の信頼確保に努めている。また、指摘事項の改善についても、担当課の報告を求め結果を公表している。そのことによりリスクの軽減が図れていると考えている。今後、地方自治法の改正を注視しながら、より良い結果を求めていく必要がある。				
役職 監査事務局長 氏名 馬場鉄二		基本施策への貢献度 3 中立				

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等（単位：千円，人）										施策への 貢献度
			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度	
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算	
1 監査委員事務	例月現金出納検査業務	法定	455	3,788	0.39	490	5,915	0.68	319	3,477	0.40	319	* 法定事務
	決算等審査業務	法定	524	3,935	0.45	526	6,275	0.73	398	4,217	0.50	398	* 法定事務
	定期監査業務	法定	280	2,128	0.24	339	4,054	0.47	538	5,676	0.67	539	* 法定事務
	財政援助団体等監査業務	法定	128	957	0.11	173	1,951	0.24	223	2,333	0.28	223	* 法定事務
	請求に基づく監査業務	法定	128	988	0.11	58	708	0.08	167	1,832	0.21	167	* 法定事務
	随時監査業務	法定	190	1,033	0.12	156	1,252	0.15	105	611	0.07	117	* 法定事務
	全国都市監査委員会負担金	内部管理	22	0	0.00	20	0	0.00	20	0	0.00	20	
	西日本都市監査委員会負担金	内部管理	3	0	0.00	3	0	0.00	2	0	0.00	3	
	中国都市監査委員会負担金	内部管理	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	
	県都市監査委員会負担金	内部管理	226	654	0.07	140	524	0.06	101	1,541	0.17	183	
この施策に費やした資源（単位：千円，人）			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度	
			1,956	13,483	1.49	1,905	20,679	2.41	1,873	19,687	2.30	1,969	